

躍進

新琴似中学校
学校だより

令和7年度
5月号(第2号)
令和7年4月25日

「3年生になって」(1学期始業式代表生徒の作文より)

3年生になると行事などに最後という言葉がつくことが増えます。中学校生活最後の行事をどう行いたいかと考えたとき、悔いのないように行いたいなと思いました。そのためには、人の意見を尊重し、仲間と協力し合う、人を想い、自分を想う事が大切です。だから私は「人を想い、自分を想う」という言葉を大切に過ごしていきたいです。

部活動では、バドミントン部に所属しているのですが、2年生の頃には部員1人1人の熱意に差があり、個人競技の部活ならではの難しさを感じました。改善すべき所も多くあり、どうすればよいか悩む日も続いていました。でも考えてみると、私は自分自身が思っていることを全体に発信しておらず、一人で悩んでいたことに気づきました。そこで思ったことを自分から伝えることをつづけると、少しずつ改善されていきました。それでもまだ、部活として成長できる所は、あると思うので、これからも思ったことを全体に伝え続け、部員みんなが意見を言いやすい環境づくりもしていきたいです。

今年度も、感謝を忘れず過ごし、たくさんの挑戦をして、自分自身を成長させていきたいです。

「新入生誓いの言葉」(入学式新入生代表挨拶より)

長い冬が終わり、心地よい春風が訪れ始めたこのよき日に、私たち新入生は新琴似中学校に入学することができました。先程は、多くの方々より歓迎のお言葉を頂き、ありがとうございました。これからの中学校生活への期待がとて大きくなりました。小学校生活を振り返ると、学ぶことの楽しさや他人への思いやりの大切さを教えてくださった先生方、喜びをわかちあう大切さや協力することの大切さを一緒に学んだ友達、私たちをいつも温かく見守ってくださった地域の方々、そして悩んでいるときいつでも話を聞いてくれた家族が支えてくれたおかげでここまで成長することができました。

小学校では、最後まであきらめずに最善を尽くすことの大切さも学びました。学校行事の準備の際、時間が足りずに困難に直面したときでもあきらめずにどうすればできるのかを考えて頑張ることで、最後には理想に最も近い結果を残すことができました。中学校では、授業で学ぶことも多くなり、新しい仲間や先生方との関わりも増えるなど、少し不安に思うこともありますが、小学校での経験を活かして、困難な状況にもあきらめず、自分らしく頑張りたいです。また、中学校から始まる部活動は、小学校でのクラブ活動よりも本格的に取り組めることに魅力を感じており、入部するのが今から楽しみです。学校生活や部活動を通して、上級生の先輩方の様に立派な中学生へと成長していきたいです。

最後になりますが、本日はこのような素晴らしい式を開いてくださり、本当にありがとうございました。これから始まる学校生活を精一杯頑張りたいと思いますので、先生方、先輩方、これからの三年間どうぞよろしくお願い致します。